

## 沸化水素の運搬容器に関する国際規則(IMDG Code)との比較

|  | 条文        | 毒物及び劇物取締法施行令(内容積1000L以上の容器に収納して運搬する場合)   |  | 国際規則 ( IMDG Code )   |   |
|--|-----------|--|--|--|---|
|  | 40条の2     | 沸化水素<br>又はこれを含有する製剤(沸化水素70%以上を含有するものに限る) | 沸化水素<br>又はこれを含有する製剤(沸化水素70%以上を含有するものを除く) | 無水物(UN1052)  | 含有製剤(UN1790)<br>a. 60%以上<br>b. 60%以下        |
| 内容積  | 2項1号      | 10,000L以下                                |  | 制限無し   |   |
| ・容器、マンホール、注入口のふたの材質<br>・容器の内面の材質<br>・弁、配管の材質 | 2項2号      | JISG3101と同等以上の鋼材                         |  | 標準鋼 ( 6.7.2.1 )<br>国内・国際規則に適合したもの(6.7.2.2.1)   |   |
|  | 4項2号      | —  | 容器内面をポリエチレンなどで被覆                         |  |   |
|  | 2項6号/4項3号 | 弁は鋼製                                     | 弁はプラスチック性又はプラスチック被覆を施した鋼製                | 1. 運送する物質に対し充分な耐食性を有するもの   |   |
|  | 2項6号/4項3号 | 配管は鋼製                                    | 配管はプラスチック被覆を施した鋼製                        | 2. 運送する物質との化学反応に適応するように処理されたもの   |   |
|  |           |  |  | 3. 耐食性の素材を内張りするか、同等な方法で一体としたもの(6.7.2.2.2)  |   |
| 容器、マンホール、注入口のふたの鋼板の厚さ                        | 3項1号      | 6mm以上                                    |  | 6mm以上  | a. 60%以上 6mm以上(T-10) (4.2.4.2.6)            |
|  |           |  |  | T-10 (4.2.4.2.6)   | b. 60%以下 直径1.8m以下 5mm以上(T-10)               |
|  | 4項1号      | 4.5mm以上                                  |  |  | 直径1.8m以上 6mm以上(〃)<br>(4.2.4.2.6及び6.7.2.4.2) |
|  |           |  |  | (以上、標準鋼)   | (以上、標準鋼)                                    |
|  |           |  |  | 標準鋼以外の金属の板厚は計算式による (6.7.2.4.6)   | 標準鋼以外の金属の板厚は計算式による (6.7.2.4.6)              |
| 水圧試験の圧力                                      | 3項2号      | 490kPa以上                                 |  | 4 bar(400kPa)以上 (4.2.4.2.6)  |   |
|  | 2項4号      |  | 294kPa以上                                 | 設計圧力の1.5倍以上(6.7.2.1, 6.7.2.3.2)  |   |
| 防波板  | 2項5号      | 2000L以上の容器の内部に設置                         |  | 積載率20%以下又は80%以上の場合は不要<br>(20%を越え、80%未満の場合7,500L以内毎に区画又は防波板を設ける)<br>(4.2.1.9.6)             |   |
| 防護枠  | 2項7号      | 厚さ2.3mm以上の鋼板製山形防護枠                       |  | 付属設備は運送中、操作中の損傷の危険から保護するよう配置しなければならない。外装排出部品、内部弁等は外力によってねじ切られる危険から保護されなければならない。(6.7.2.5.1) |   |
| 断熱材  | 3項3号      | 5000L以上の容器では40°C以下に保つことができる断熱材           | —  | 胴体の「設計温度範囲」は輸送される物質の周囲条件のもとで-40°Cから+50°Cとしなければならない。(6.7.2.1)                               |   |
| 弁の位置   | 3項4号      | 2000L以上の容器は上部に設置                         |  | 下弁禁止<br>T-10 (4.2.4.2.6)   | 下弁禁止<br>T-8,T-10 (4.2.4.2.6)                |

注:(毒物及び劇物取締法施行令第40条の2に規定する事項との比較)